

## かまくらジェンダー平等プラン【鎌倉市男女共同参画計画（第3次）】 （素案）に対する意見と市の考え方について

かまくらジェンダー平等プラン【鎌倉市男女共同参画計画（第3次）】（素案）について、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

いただきましたご意見につきましては、プラン策定の参考にさせていただきます。また、ご意見に対する市の考え方等を次のとおり公表します。

### 1. 意見公募方法等

#### （1）意見公募期間

令和4年1月24日（月）～令和4年2月22日（火）

#### （2）意見公募の周知方法

ア 市ホームページへの掲載

イ 広報かまくらへの掲載（2月1日号）

ウ 地域共生課窓口、市役所本庁舎1階ロビー、各図書館で配布

エ 各支所での閲覧

### 2 意見公募結果

#### （1）意見提出者の総数 3名（意見 5件）

#### （2）受付方法の内訳〔電子メール2通、回収箱1通〕

No.	ご意見（原文）	市の考え方
1	<p>鎌倉に生まれ育ち、今なお鎌倉市に在住し、様々な活動に参加してきましたが、いまだかつて男女不平等を感じたことはありません。むしろ、現在、社会全体が男女の差ではなく、違いをも無くそうとしている風潮に危機感を抱いています。差を無くすことは言うまでもありませんが、「差」と「違い」とは異なります。男性と女性は明らかに身体的、及びそれに伴う幾つかの違いがあります。ただ、生まれながらにその違いがはっきりしないひと存在するので、そうした人々へは理解を示すべきでしょう。</p> <p>けれども、一部の人が主張するように、女の子にピンクの洋服を着せてはいけない、お人形遊びをさせてはいけない・・・など、性による潜在的な役割を押し付けてはいけないというような意見を社会全体に押し付けるのは、生物の自然な営みに、無理を生ずるのではないのでしょうか。従来、男性が男性らしく、女性が女性らしくという生き方を否定する理由は何もありません。与えられた性にそぐわない人に、生来の性別を無理強いしてはいけない、ということです。</p> <p>鎌倉が、男性、女性、それぞれの特質を活かして活動し、協力し合うことによって、素晴らしい社会を築く、そんな町であってほしいと思います。</p>	<p>ご意見は、性別の違いによる差別や、性別の違いに関する無意識の思い込み等の解消を目指していくという本プランの考え方と同じ趣旨に沿った重要なものと認識しています。</p> <p>本プランは、個人が望む色の服や遊び等が選択できることはもとより、個人が望む生き方ができる、多様性を認め尊重し合う社会の実現を目指し、第2章2目標Ⅰに「ジェンダー平等社会実現への理解促進」を掲げ、「性的指向や性自認に関する正しい知識を身につけ、多様性を認めて、誰もが互いの違いを受け入れ、個性や能力を尊重しあい、一人ひとりを大切にすることで、人権尊重の意識やジェンダー平等意識を形成し、固定的な性別役割分担や性別の違いに関する偏見・固定観念、無意識の思い込みを解消していく。」ことを位置づけています。</p> <p>ご意見を踏まえ、人権尊重の意識やジェンダー平等の正しい理解と意識醸成に取組み、多様性を認め、お互いを思い、誰もが自分らしく、安心して暮らすことのできる「共生社会」の実現を目指してまいります。</p>

No.	ご意見（原文）	市の考え方
2	<p>①固定的性別役割について  男は仕事、女は家庭という価値は普遍化できないのは確か。しかしながら、そのような伝統的価値観を持つ自由もある。産経新聞令和3年3月3日談話室にて、57歳専業主婦の方の「古い価値観も認めてほしい」との意見もある。“多様性”をうたうならば、“古い価値観”を排斥すべきではない。</p>	<p>ご意見は、多様性に関わる重要なご示唆であると認識しています。本プランでは、第2章2目標Iに「ジェンダー平等社会実現への理解促進」を掲げ、「性的指向や性自認に関する正しい知識を身につけ、多様性を認めて、誰もが互いの違いを受け入れ、個性や能力を尊重しあい、一人ひとりを大切にすることで、人権尊重の意識やジェンダー平等意識を形成し、固定的な性別役割分担や性別の違いに関する偏見・固定観念、無意識の思い込みを解消していく。」ことを位置づけています。</p> <p>ご意見を踏まえ、人権尊重の意識やジェンダー平等の正しい理解と意識醸成に取組み、性別の違いによる差別や性別の違いに関する無意識の思い込み等が、個人の望む生き方の障壁となることを解消し、多様性を認め、尊重し合う「共生社会」の実現を目指しています。</p>
3	<p>②ひな祭り、端午の節句  男女の差別は許されないが、区別はあることをプランにのせるべし。ジェンダー平等は一理あるが、ジェンダーフリーは好ましくない。男らしく、女らしく、を強制するのが好ましくないと同様、男、女は同一である、との価値観の強制も好ましくない。</p>	<p>ご意見は、性別の違いによる差別や、性別の違いに関する無意識の思い込み等の解消を目指していくという本プランの考え方と同じ趣旨に沿った重要なものと認識しています。</p> <p>また、本プランは、個人が持つ価値観や個性を尊重し、性別に関わらず個人として能力が発揮できる機会が確保される社会を築いていこうというもので、それぞれの多様性を認め、お互いを思い、誰もが自分らしく、安心して暮らすことのできる「共生社会」の実現に向けた取組みです。</p> <p>性別の違いによる差別や価値観の強制などの解消に向け、引き続き、人権尊重の意識やジェンダー平等の正しい理解と意識醸成に取組みます。</p>
4	<p>③ジェンダー平等の視点を持つ市民団体や事業者との協働とは？  このような組織は政治的観点が強いので慎重に共同すべし。過激なフェミニズムに利用されないように。</p>	<p>これまでもジェンダー平等の視点を持ちながら、社会貢献活動を続けている多くの市民団体や、さまざまな技術・知識・社会経験を持ち、それを地域のなかで役立てたいと考えている市民、市民団体、事業者等から、男女共同参画推進事業に係る意見聴取などを行っており、今後も継続するとともに、御意見を踏まえ、さらなる協働を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、協働を含め、今後展開する取り組みは全て本プランに即して進めてまいります。</p>

No.	ご意見（原文）	市の考え方
5	<p>私には、娘が3人います。次女は公務員であるので、産休を十分にとれる。しかし、長女はまもなく第一子を授かる予定だが、民間企業なので、0歳から保育園に預けるという。三女は専業主婦である。その三女が言うには、「女性が輝く」と過剰に宣伝されており、「専業主婦」が怠けていると勘違いされると言う。ジェンダー平等の美名の下、私の娘達はそれぞれに悩んでいる。</p> <p>「男」と「女」は、動物も、植物も、生物の基本である。それぞれに、特質が異なり、その特質ものと長所・短所があり、お互いに補って家庭を作り、子を育てることで、何万年も、何万世代も、バトンタッチを続けてきた。</p> <p>無理矢理、ジェンダー平等を押し進め、結果の平等を求めることは、人間にとって重要な機会の平等を失っていると思う。男性の中にも得手不得手が有、女性の中にも得手不得手があるのは、自然だと思う。そのような自然の成り立ちを無視し、女性が3割以上、4割以上と「結果」を決めつけることは、間違いだと思う。</p> <p>ジェンダー平等より、家庭を、特に子供を、大切にする世界を目指すべきです。「選択的夫婦別姓」などで子供を無視せず、次世代を引き継ぐ子供を大切にすべきだと思います。</p>	<p>具体的な事例を挙げたご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見は、性別の違いによる差別や、性別の違いに関する無意識の思い込み等の解消を目指していくという本プランの趣旨に沿った重要なものと認識しています。</p> <p>また、性別に関わらず誰もが社会の対等な構成員として、自分の意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画できるよう、実質的な機会の平等を担保するため、積極的改善措置の導入を推進してまいります。</p> <p>ご意見を踏まえ、人権尊重の意識やジェンダー平等の正しい理解と意識醸成に取組み、性別の違いによる差別や性別の違いに関する無意識の思い込み等が、個人の望む生き方の障壁となることを解消し、多様性を認め、尊重し合う「共生社会」の実現を目指してまいります。</p>